

広報かつやま

8 No.693
月号

平成24年8月9日発行



ラジオ体操で健康づくり

「野向町民体育祭」(野向小グラウンド)

地元でかかりつけ医を持とう! 2ページ

今後の中国との交流について 4ページ

出会い・ふれあい

日本写真館賞コンテスト4年連続入賞!

笠松 ^{たけお} 丈夫さん (43)
=元町2丁目=

「喜んでいただける写真を」

元町2丁目で写真館を営む笠松さんは、第6回日本写真館賞コンテストの「営業写真の部」で優秀賞を受賞し、4年連続入賞を果たしました。

優秀賞は大賞、準大賞に次ぐ賞で、「営業写真の部」に寄せられた400点以上の応募作品の中から選ばれました。ちなみに、3年前の第3回コンテストでも優秀賞を受賞されています。

今回の作品は「夏の少女たち」で、4人の少女それぞれの愛くるしく、屈託のない表情がとても素敵な作品です。

笠松さんは「これからも人物を中心として、お客さんに喜んでいただける写真を撮ってまいります。」と抱負を語られました。



笠松さんと作品集。下の写真が優秀賞受賞作「夏の少女たち」で、後方の写真は過去の入賞作品です。

人口の動き

	6月末現在	自然動態			社会動態			7月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	12,277人	10	14	-4	22	23	-1	12,272人	-5人
女	13,477人	6	17	-11	14	34	-20	13,446人	-31人
合計	25,754人	16	31	-15	36	57	-21	25,718人	-36人
世帯数	8,197世帯							8,128世帯	-69世帯

編集後記
7月末から記録的な猛暑が続いています。こまめに水分を補給して熱中症にならないよう、体調管理には十分気をつけてください。
8月は「勝ち山夏物語」のまさに本番。今年も盛りだくさんのイベントがありませんが、特に14日には今回で11回目となる「かちやまワッショイ2012」と「納涼花火大会2012」が行われます。暑い夏を吹き飛ばす暑いイベントに、皆さんぜひお越しください。

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成24年7月末	前年比
総件数	299件	+9件
人身事故(うち高齢者)	43件(16)	+8件(+3)
死者(うち高齢者)	1人(0)	-2人(-3)
傷者	53人	+10人
物損事故	256件	+1件

8月の納税

市・県民税▶第2期
納期限▶8月31日(金)
口座振替▶8月27日(月)

あなたの家を解体処分する前に空家の中古住宅として売いませんか? お家を探している人に仲介します。

一般不動産投資顧問業
国土交通大臣 第607号
福井県知事(4)第1206号

www.sei-oh.com



ご相談ください



(有)せいおう不動産
TEL.0779-88-5880



地元でかかりつけ医を持とう!

～在宅診療のすすめ～

7月21日、奥越地域地場産業振興センターにおいて、地域医療推進シンポジウムを開催しました。市民など約300人が参加し、おおい町国保名田庄診療所の中村 伸一所長の講演や、医療関係者などによるパネルディスカッションが行われました。中村氏は講演の中で、「在宅での治療によって患者にとって素敵な最期を迎えることができた」という症例をいくつか紹介し、在宅診療の大切さを語りました。



パネルディスカッション

テーマ

『勝山市の医療の現状と今後について』

■コーディネーター
中村 伸一氏

■パネリスト
若林 正三郎氏
(勝山市医師会会長)
藤田 学氏
(福井社会保険病院副院長)
竹島 多恵子氏 (市民代表)
山岸 正裕氏 (勝山市長)



「病院信仰」の患者

私が名田庄診療所（以下、診療所）に赴任したばかりのころは、患者は診療所より遠いところの「病院」で診てもらうことを望んでいました。心臓病の薬を処方することがあり、病院で出す薬も診療所ですす薬も同じであるにもかかわらず、その患者はわざわざ車で25分かかる公立小浜病院まで取りに行ったのです。

医療と介護が連携していれば

私が診てきた患者の中で、こんな老夫婦がいました。夫が小浜病院に入院することになったとき、妻一人を家に残してはおけないということと、妻は京都に住む息子のところに引き取られました。退院後、私はその方はまた妻と二人で暮らしているものだと思っていました。ところが、妻は至れり尽くせりの息子のところを離れることができず、しかし息子は二人も一緒に引き取ることはできないということと、夫は施設に入ることになりました。もし、今のよう

に医療と介護が連携していれば、この夫婦は、ばらばらにならずにすんだかもしれません。

在宅診療で寿命が延びて

ガンで余命数か月であるにもかかわらず、入院ではなく在宅治療を選び、その結果、余命以上長く生きることができ、最期を迎えるまでの間、家族とお別れのときを十分に過ごすことができた患者もいました。

地域の方々に支えられて

平成17年から診療所の常勤医師は私だけとなり、精神的にも身体的にも大変でした。そういった中で、私は「慢性硬膜下血腫」で倒れ、一時



中村 伸一氏

おおい町国保名田庄診療所 所長
自治医科大学地域医療学臨床教授
旧三国町出身。平成元年に自治医科大学を卒業後、福井県立病院に勤務するが、同3年に国保名田庄診療所に赴任。5年間勤務した後、福井県立病院に戻るが、同10年、再び国保名田庄診療所に所長として戻り、現在に至る。

は生死をさまよいました。なんとか一命を取りとめ、その後診療所に復帰しましたが、私の体調を気遣い、患者が自然と夜間診療などを控えてくれるようになりました。そこで初めて「私は地域の方々に支えられて医師として働いている」と感じたのです。

相互の信頼が大切

今の医療現場では、患者側は「何かあったら訴えてやる」「医療側は自分たちを守る手立てに走るということが起こっています。しかし、これでは医療は良くなりません。患者や地域との相互信頼が、医療では大切なのです。

県内に4つある二次医療圏の見直しが進められている中で、入院患者の流出が大きい奥越地域が福井・坂井地域に統合される可能性が高い現状から（広報かつやま7月号参照）、山岸市長は「もし統合されてしまうと、医療圏内で分岐施設が確保されたことになり、奥越での分岐再開はより一層難しくなる」と話し、勝山市医師会の若林会長は「統合が行われると、病床数が地方から都市部に流れるなど、都市部に有利に働く。また、医師数、医療サービス体制が最も弱い弱な地域であるという奥越の医療課題が隠されてしまう」と危機感を募らせた。

その他、初診から圏外の大病院にかかる場合が多く、それが患者流出の一因と考えられることから、まずは地元のかかりつけ医で診てもらい、入院などが必要な場合には、拠点病院の社会保険病院にかかると、「奥越地域で完結する受診行動が大切である」と、パネリストは参加者に呼びかけていました。

社会保険病院の藤田副院長は、社会保険病院の利用状況

などを説明し、「医師を確保し、大規模病院やかかりつけ医との連携を充実させていきたい」と話しました。

竹島氏は討論の中で、自身の体験談から社会保険病院の必要性を強く訴えました。

■竹島氏の話
高校卒業後、京都に30年移り住み、その後、両親の待つ勝山に戻りました。それから20年の間に夫は2度、病院で命を救われました。夜中に激しい腹痛に襲われたとき、夜中にもかかわらず大勢のスタッフが駆けつけ、昼間同然のような緊急体勢で処置していただきました。都会にいたら、こうはいかなかったかもしれません。

もし社会保険病院が無くなったら、この町はどうなってしまうのでしょうか。過疎化が進みます。進んでしまうかもしれません。

患者が少なく、採算が取れないければ、奥越に病院は不要と判断されてしまうのです。病院を残すためにも、地元のかかりつけ医の流出を防がなければなりません。社会保険病院は、私たちが子

孫たちが勝山で生きていくための最低の保障なのです。いつまでもあると思うな「親」と「病院」

■まとめ（中村氏の話）
電力不足になった場合、私たちは、電力会社に「もっと電気をつくれ」と文句を言うより、進んで節電に心がける方が多いと思います。では、医師不足になった場合はどうでしょうか。ただ「医者を増やしてくれ」と病院に文句を言っているだけでは、それよりも、病気になるないように予防することはもちろんですが、地域で医師を育てること、また受診行動を自ら考えることが大切だと思いますね。





勝山の紹介パネル

恐竜化石発掘日本一・ 恐竜溪谷ふくい・ かつやまフェア 開催される！

横浜市のパシフィコ横浜を会場に、夏休み期間中開催される「ヨコハマ2012恐竜展」において、7月20日から7月29日まで勝山市をPRするブースが設置され、「恐竜化石発掘日本一・恐竜溪谷ふくい・かつやまフェア」が開催されました。



開幕記念テープカット



延べ433人が協力

「かつやまフェア」には、市内事業所、各種団体等で構成された実行委員会から、準備期間を含む13日間で延べ433人が参加し、運営を行いました。

会場には、「勝ち山おろしそば」をはじめとする飲食ブース、市内のお土産品やグッズ、農産物の販売ブース、化石発掘体験と手織りコース

ターの体験ブースが設けられました。

10日間の恐竜展入場者数は2万7747人で、勝ち山おろしそばは2267杯、お土産品は124万5590円、農産物は27万8800円を売り上げました。

また、化石発掘体験には919人、手織り体験には880人、会場内でのスタンプラリーには6600人の参加がありました。

- ①中尾彬夫妻から激励 ②そば連と麺類組合による手打ちそば実演 ③お土産品、グッズの販売 ④化石発掘体験コーナー ⑤恐竜GAOバーガー、恐竜弁当、ジャージ牛乳ゼラート、勝山産米塩むすびの販売、⑥手織りコースター体験 ⑦スタンプラリー ⑧農産物販売(米、トマト、里芋、麦茶等) ⑨スタンプラリーの抽選・景品引換

今後の中国との交流について ～中国視察を終えて～

7月1日から8日まで、山岸市長と松村市会議長が中国の河南省洛陽市、浙江省杭州市・麗水市、上海市を視察しました。友好交流推進と小学校単位での交流、観光客の誘致など、今後の各種交流についての山岸市長の考え方をまとめました。

洛陽市との交流再開

- ・越前大仏のモデルである龍門石窟、白山平泉寺の語源ともいえる洛陽平泉との縁から、両市の交流を再開
- ・洛陽市の牡丹まつりへ訪問団派遣を検討
- ・両市交流のシンボルである昭和町の牡丹公園の牡丹の再植樹



洛陽市副市長を表敬訪問

学校間交流の推進

- ・杭州市文龍巷小学校とバドミントン交流
- ・麗水市遂昌県実験小学校と伝統芸能の継承、環境教育をテーマにした交流
- ・勝山市全体の小学生が参加できる交流
- ・インターネット等を通じた情報交換



文龍港小学校のバドミントン練習風景

麗水市との交流推進

- ・福井県と提携している浙江省の仲介により、麗水市との友好提携締結の準備を進める
- ・環境保護、恵まれた自然景観、伝統文化の継承など、両市の共通したまちづくりの考え方を基礎とした提携を目指す



麗水市副市長を表敬訪問

中国からの観光誘客推進

- ・上海市や杭州市など、中国沿海部地域からの観光客誘致に向けて研究を進める
- ・古い歴史を誇る洛陽市と、美しい自然環境に恵まれた麗水市との友好交流を、勝山市のインバウンド観光誘客に向けた資源として活用する
- ・これにより台湾や香港、さらには国内からの観光客誘致を目指す

市長とごども 語らう会

7月1日から8日間、山岸市長が中国を訪問しました。中国洛陽市との交流再開や、学校間の交流など、今後の中国との交流について考えをお話します。

とき
8月29日(水)
午後7時～9時

ところ
すこやか
多目的ホール

テーマ
中国洛陽市・
杭州市・麗水市
視察報告

問合せ
未来創造課
(市役所2階)
☎88・1115

「防災の日」を考えよう

大正12年9月1日に発生した関東大震災にちなんで、毎年9月1日を「防災の日」、また防災の日を含む1週間を「防災週間」と定められています。

昨年の東日本大震災や今年の豪雨など、災害はいつ起こるか分かりません。防災の日を前に、改めて防災について考えてみましょう。



- ◆家庭でできること
- ・懐中電灯やラジオなどの非常持出品をリュックなどに入れておく
 - ・非常食や水などの備蓄品は、古くならないように定期的に入れ替える
 - ・地震が起こったときに、家具や家電が転倒しないように固定しておく
 - ・避難場所や避難場所への道順、お互いの連絡方法などを家族で確認しておく

◆市の対応

災害などの情報は、防災行政無線や緊急メールサービスで伝達します（防災行政無線は市内30か所に設置してあり、今年度新たに11基増設予定）。なお、土砂災害・洪水ハザードマップ、地震ハザードマップを市のホームページで公開しています。

また、10月には防災士向けの研修を開催し、防災士のレベルアップを図ります。

さらに、各地区での自主防災組織設立を支援し、小学生への防災出前講座も実施します。（各地区等で防災出前講座を希望される場合は、総務課へご相談ください）

総務課（市役所2階） ☎88-1116

各種イベント案内

木村充揮 星空歌ライブ

ブルースシンガーの素敵な歌とおいしいお酒で、夏の夜を楽しみませんか。

とき▼8月18日（土）

開演 午後6時30分
ところ▼大清水公園

主催▼うしろまち繁栄会
チケット▼3000円

（ワンドリンク付き）
☎090・2377・1854
（亀井）



木村 充揮 氏

平成24年度 勝山市青少年健全育成推進大会

とき▼8月21日（火）

午後6時45分～9時
ところ▼すこやか 多目的ホール

内容▼
・少年の主張
・（各中学校の代表者が発表）
・講演

演題▼『安心満足希望
そして開かれた
主体性へ』
（家庭・学校・地域の育み）
講師▼福井県医療生活協同
組合相談室カウンセラー
熊谷 香菜江 氏

・「あなたがもたらしたいい言葉」優秀作品発表
☎87・0101
事務局（市青少年センター内）

8/26日 「関西学院大学アカデミー2012」開催

勝山市民会館

◆講演会（午後1時～3時）※市民大学特別企画講座として、1単位認定します
ルーズ&ノーウィン（勝ちはない）の防災にどう立ち向かうか
～ゼロリスクと未曾有の間で立ちすくむ私たち～

会場▶第1会議室（3階）
講師▶山中 茂樹 氏（関西学院大学災害復興制度研究所主任研究員）
プロフィール：国の「首都直下地震の復興対策のあり方に関する検討会」委員などを歴任。日本災害復興学会理事、大規模災害対策研究機構副理事長、減災・復興支援機構副理事長。



◆応援団総部吹奏楽部ファミリーコンサート

（開場：午後4時30分／開演：午後5時）

創部56年を迎えた伝統ある吹奏楽部で、関西大会で金賞を受賞するなど実績も豊富。市内中学校の吹奏楽部や、かつやまの音楽家のたまごたちとの共演もあります。

会場▶大ホール
※要入場整理券（無料。整理券は市役所、各公民館、各児童センター、市民活動センターで配布しています）



◆関西学院大学紹介展示

期間▶8月20日（月）～24日（金）※26日は市民会館1階ロビーで展示します
会場▶市役所1階ロビー

勝山市は、福井工業大学、福井県立大学看護福祉学部および関西学院大学と官学間の連携を図っています。今年度は、大学ごとに学校紹介や講演会、音楽活動発表などを組み合わせた「大学アカデミー」を開催します。

☎ 未来創造課（市役所2階） ☎88-1115

名古屋大学交響楽団 ふれあいコンサート

名古屋大学交響楽団とは
名古屋大学文化サークル連盟に所属するアマチュアオーケストラ。名古屋大学またはその近辺の大学生約150人で活動しています。

とき▼8月22日（水）

午後2時30分～4時
ところ▼市民会館 大ホール

演奏曲▼「軽騎兵」序曲、「となりのトトロ」メドレー、
交響詩「フィンランディア」
※演奏の他に、指揮者体験や
楽器演奏体験があります

費用▼無料（要整理券）
※入場整理券は勝山ニューホテルで配布しています
勝山ニューホテル
☎88・2110



勝山市男女共同参画「夕涼み講座」 笑いで考える 男と女

楽しい落語を聞いて、男女共同参画について考えましょう。

とき▼8月27日（月）

午後7時30分～8時30分
ところ▼すこやか 多目的ホール

内容▼落語と講演
演目▼オンナガクチョウ
講師▼はやおき亭貞九郎氏
（落語家）

その他▼チャイルドルームを
設置します
※聴講無料、申込不要
未来創造課（市役所2階）
☎88・1115



はやおき亭 貞九郎 氏

グランフオンド福井 参加者募集

グランフオンド福井とは
速さを競うものではなく、
交通ルールを守り、長距離を
楽しみながら走ることを目的
とする県内最大のサイクリン
グイベント。

とき▼9月30日（日）

スタート 午前6時
ところ▼奥越地域一円

対象▼中学生以上
コース▼
①チョイグラ（約50km）
②マジグラ（約100km）
③メガグラ（約150km）

※現在、関係機関と調整中
費用▼6000円
※保険等は各自で加入してく
ださい
※大会運営のボランティアス
タッフも募集します

☎・☎ グランフオンド
実行委員会事務局
（市民活動センター内）
080・2957・1339
（柘家、高柳）

HOT話題

陸前高田市と南相馬市から小学生を受入 勝山の自然の中で交流と体験

■7月28日～8月4日 東山いこいの森ほか



7月28日から4日間、岩手県陸前高田市から小学生4名を、8月1日から4日間、福島県南相馬市から小学生8名を受け入れました。平泉寺・野向・村岡小学校の児童と交流し、キャンプやカヌー体験などを楽しみました。

写真上：陸前高田市の子どもたち（魚つかみ）
写真下：南相馬市の子どもたち（カヌー体験）



荒土小学校5年生10名が、6月28日に炭焼き窯に入れた原木を取り出す、炭出し作業を手伝いました。



2018年福井国体で、勝山市で開催されるクレイ射撃の会場等について、日本クレイ射撃協会の正式視察がありました。市役所での概要説明の後、野向町牛ヶ谷の県立クレイ射撃場を視察しました。

**昔ながらの炭焼き体験
炭焼き窯から炭出し**
■7月13日 荒土町新道区

**福井国体開催に向けて
クレイ射撃場視察**
■7月25日 市役所他

**B&Gプール
お盆の開館時間短縮**
8月14日（火）・15日（水）は、開館時間を短縮します。16日（木）からは通常どおりとなります。
※8月13日（月）は定休日
開館時間▼午後1時～5時
（通常は午後9時30分まで）
生涯学習・スポーツ課
（教育会館1階）
☎88・8114

**市職員採用試験の
申込締切が迫っています**
申込締切▶8月15日（水）午後5時15分
※詳しくは広報かつやま7月号または市のホームページをご覧ください
☎・☎ 総務課（市役所2階）☎88-1113

**コミュニティ助成事業で
地区活動備品を整備**

大袋区では、宝くじの社会貢献広報事業である（財）自治総合センター「コミュニティ助成事業」の助成を受けて、除雪機や掲示板等を整備しました。

電車・バスに乗りつぎ

～平成23年度えちぜん鉄道・路線バス利用実績～

えちぜん鉄道の利用実績

昨年度の利用者数は323万人で、一昨年より8万人以上の増加となり、開業以来最大の利用者数となりました（図1参照）。
しかし、市内の駅および小舟渡駅での利用者数は昨年度より5000人減少し、15万人を割りました。

えちぜん鉄道の助成制度

電車は、マイカーと比べて人ひとりを運ぶのに発生する二酸化炭素の量が約9分の1ですむなど、「地球にやさしい乗り物」です。
市では、利用促進のために様々な助成制度を設けており（表1参照）、通勤や通学で電車を日常的に利用される方も増えています。

路線バスの現状

現在、市内には広域路線（勝山大野線・1路線、市内コミュニティバス2路線、市内乗合

路線バス利用実績

タクシー8路線、市内観光バス2路線の計13路線のバスが運行しています。
広域路線（医大線等）や民間路線の廃止に伴い、市内路線の乗合タクシー化を進めましたが、利用者は年々減少しており、運行に必要な行政の負担も増えています（図2参照）。

運転免許証を 自主返納すると

市では、運転免許証を有効期限内に自主返納された高齢者に対して、次の支援を行っています。

- ①バスの無料乗車券の交付
- ②写真付き住民基本台帳カードの無料交付

通勤・通学、通院やお買い物などの際には、ぜひ電車やバスをご利用ください。

環境政策課（市役所2階）
☎88・8104

表1 えちぜん鉄道の助成制度

種類	割引率	補助対象
通学定期券（1か月）	5%	<ul style="list-style-type: none"> 勝山市民 市内に通勤、通学される方
〃（3か月、6か月）	10%	
通勤定期券	5%	<ul style="list-style-type: none"> 市内の駅または小舟渡駅、越前竹原駅で乗降される方
回数券	10%	
団体利用	41%	<ul style="list-style-type: none"> 勝山市民15人以上で構成される団体 ※勝山駅で乗車券を購入し、市内の駅または小舟渡駅、越前竹原駅で乗降される場合

図1 えちぜん鉄道利用者推移

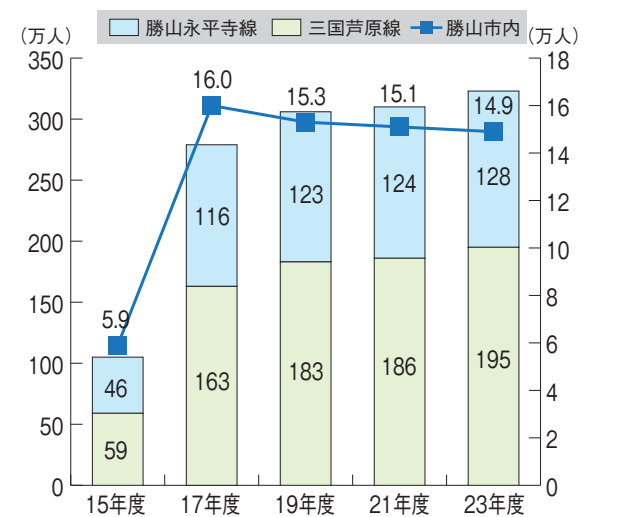
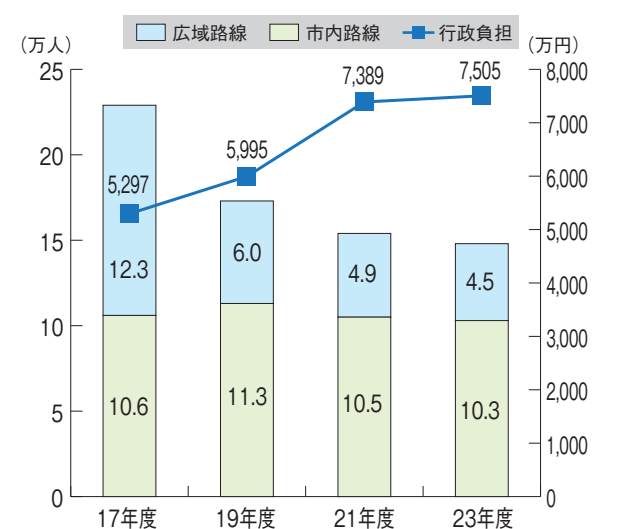


図2 バス利用者・行政負担額推移



**えちてつサポーターズクラブ
会員申込み受付中!**

年会費▶1,000円/人 ※会員の同居家族は年会費が半額
主な特典▶普通運賃が1割引
※ゴールド会員（65歳以上）は2割引
申込先▶最寄りの有人駅、市役所、各公民館など
☎ えちてつサポーターズクラブ事務局
☎0776-52-8830

**親子で行く
えち鉄電車基地見学・運転士体験**

とき▶8月26日（日）・28日（火）
詳しくは、市のホームページまたは広報かつやま7月お知らせ版をご覧ください
☎ 環境政策課（市役所2階）
☎88-8104

越前甲トレイルクラブが 八反滝トレッキングコースを 整備

毎年、野向町区長会主催で行われている越前甲登山。今年は7月22日(日)に行われ、市内外から108人が参加しました。

越前甲トレイルクラブとは

今年度からエコ協に参加されている「越前甲トレイルクラブ」は、越前甲から流れ落ちる名勝「八反滝」までのトレッキングコース整備や国道416号の開通を視野に入れた周辺整備を行い、歴史ある野向町の魅力の再発見を目指す団体として設立され、今年度のわがまち魅力醸成事業の助成を受けて活動しています。

同クラブは、今回の登山開催に合わせて「八反滝トレッキングコース」を整備しました。このコースは、雪崩を回避するために斜面を削るようなルートになっています。足元はスニーカーでも歩いて大丈夫なくらいで、登山道から数分で八反滝を近くまで見に行くことができます。



越前甲登山の様子
この日の八反滝は、前日の大雨で水量があり、約20メートルを落下する姿は迫力がありました。



参加者は八反滝を見た後、登山道に再び戻り、山頂を目指しました。登山道は雨の翌日だったこともあり、時にはロープに掴まるなど、滑らないよう気をつけながら登らなければなりません。

約2時間で山頂に着きました。山頂では、ガスの晴れ間から少しだけ市内を眺めることができました。

今後の展開

同クラブと野向町まちづくり推進委員会は、トレッキングコースの案内看板の設置準備を進めています。

また、同推進委員会は、夏祭りの際に9月下旬オープン野向町活性化交流センター「のむき風の郷」のPRにも力を入れていきます。

広報委員長 小玉 理恵

未来創造課(市役所2階)
☎88・1115

歴史の散歩道 (142)

勝山藩も

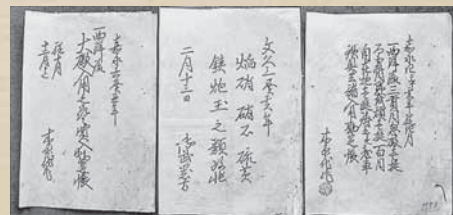
洋式大砲を造っていた

十数年前、襖の裏貼りにされていた勝山藩の貴重な文書が百枚ばかり見つかった。その一枚(表紙)に「嘉永四辛亥(一八五二)年四月より西洋流三貫目忽砲(砲)志挺・百五拾目野戦煩志挺、百目自在砲志挺、鑄立並びに台車・鉄具共諸入用勘定帳・木原作」とあり、梅田伝兵衛が金八拾六両式歩式朱と銀式匁三分を献上し、町源右衛門が金三十五両と銀百三匁分八厘を献上したと記されている。

幕末には、ロシアの使節レザノフ(一八〇四)やイギリス船フェートン号(一八〇八)の騒ぎから外国船打払令が出され、幕府や諸藩の動きの中で、勝山藩も洋式大砲鑄造に踏み切ったのは嘉永三年(一八五〇)で、九月八日には鑄立を命じられたことが「脇屋家家譜」に見られる。先の諸入用勘定帳によって、資金や資材の手当、鑄造作業の内容が具体的に記載されている。なお、勘定帳の末尾には、同五年七月七日に野戦煩一挺・自在砲一挺、三貫目忽砲(砲)(ホイッスル砲)ができたことも記

されている。

この大砲鑄造の奉行は脇屋右馬之助で、実際の鑄造の技術指導と監督に当たったのは、波多野季雄・野尻和助であった。この二人は同三年二月、大野藩の小形元助に入門し洋式砲術を学んでいる。なお波多野は、最も早くから西洋砲術を取り入れた高島秋帆の高弟で曾根金三郎に学んでいる。この指導のもとに、鑄造には後町鍛冶屋小林安太夫が当たり、台車などの木造部分には立石大工八百金作が当たった。それぞれ御武器鍛冶・御武器大工を仰せつけられていた。これらの大砲は、水戸天狗党の大野通行(一八六四)、慶応元年(一八六五)の第二次長州出兵に際しても使用されている。



大砲鑄造・火薬製造に関する文書(乾一與氏所蔵)

文化財保護委員 増田公輔



今年も発見! 赤とんぼ(アキアカネ)の 移動ルート確認作業

国内で2例目 貴重な発見
6月から市内小学校児童と市民調査員合わせて約400人が参加し、赤とんぼにマーキングすることでその移動ルートを明らかにする調査を実施しています。

今回、赤兎山山頂付近で翅にマーキングされた赤とんぼ(アキアカネ)1個体が確認されました。これは、昨年の調査に続いて国内2例目で、昨年の発見場所である法恩寺山山頂よりも、さらに距離の離れた地点での発見となりました。

発見の状況など

- 発見者 荒土小学校 大塚教諭
- 発見日 7月16日(月・祝)
- 発見場所 赤兎山山頂付近
- 発見時の様子 山頂で60匹の赤とんぼに確認とマーキングを行っていた、その中の1匹にマーキングされているものを発見した
- 発見された赤とんぼ 左翅に黄色で小さな○がマーキングされていた
- マーキングの色と位置から、6月18日〜22日の間に三室小学校でマーキングされたものと確認できる
- 発見の意義 平地から高度1000m以上の山地へのアキアカネの移動確認は、全国



捕獲された赤とんぼ
赤丸の中がマーキング箇所

守るべき自然環境
今回の発見は、多くの皆さんの協力の賜物です。これをきっかけに、勝山市では当たり前の赤とんぼの舞う風景が、実はとても貴重な自然環境であること、また、後世へ残すために、守るべき自然であることを、もっと多くの市民の皆さんに知っていただきたいと思います。

で2例目
昨年よりもさらにマークした地点から遠距離、かつ高地での再捕獲
●小学生が捕獲・マーキングしたアキアカネを、教員が発見したという連携
●市民400人体制で行った調査での、一つの大きな成果

おすすめ図書

こども図書



「金メダリストものがたり」

マイケル・ハーレー/原著
ベースボール・マガジン社

長いオリンピックの歴史のなかで、いちばん多く金メダルを獲得した選手は誰だろう。いくつもの金メダルをとったのだろう。多くの金メダルにかがやく「ナイト」の称号を得たメダリストたちの物語を、写真とイラストで紹介する。

中高生図書



「文化祭企画・アイデア事典」

彩図社編集部/編
彩図社

中学・高校における文化祭のさまざまな装飾アイデア、企画実現のためのノウハウ、買い出しのヒントなどを具体的な手法を中心に解説。実行委員が文化祭全体をよりよくするための工夫、参加団体の企画についても説明する。

一般図書



「定年待合室」

江波戸 哲夫/著
潮出版社

経験も人脈も豊富な男たちは、それぞれの職場で鬱屈を抱えていた。そして、かつての辣腕たちに、ふたたび己を試す挑戦の場がめぐってくる…。再起にかける男たちを描く経済小説。「クレームの迷路」「塩輪の営業マン」「売れ残った城」「人の住む郷」など。

フライデータイム開催中!

夏休み期間中、毎週金曜日は延長開館しています。

開館日 8/3、10、17、24、31

開館時間 9:30 ~ 19:30



Web 勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>